「マーケットの浅読み・深読み」
発行・編集：FXニュースレター　　執筆担当：斎藤登美夫
▼▲▼
◇◆◇　No.0821　◇◆◇　　24/12/25

【　2024 年の為替・金融業界 10 大ニュース　】

今年も本日を含め残り 1 週間、今年最後の当レターです。そこで今回は、年末恒例である筆者の独断と偏見で選出した今年一年の「為替・金融業界　10　大ニュース」を報じてみたい。読者の皆さんの考えるニュースは果たしてランクインしているだろうか。

◎今年は各国が「政治的な大変革期」、来年も!?

まずは筆者の考える「為替・金融業界 10 大ニュース」を以下ですべて列挙、そのあとで簡単な解説や講評などを記してみたい。
1；NYダウが史上最高値を更新、日経平均株価も一時 4 万円台をつけバブル崩壊後の高値更新
2；暗号資産（仮想通貨）ビットコインも史上最高値更新、10 万ドルの大台乗せ
3；米大統領選で勝利、トランプ氏が米大統領に返り咲き
4；日銀がマイナス金利解除、17 年ぶりの利上げ実施
5；ドル/円が 34 年ぶりの 160 円台をつけたのち急落するなど大荒れの様相
6；米国が 4 年半ぶりに利下げ実施
7；自民党総裁に石破氏、10 月には石破内閣も誕生。ただ衆院選は与党が大敗し過半数割れ
8；元日に石川県能登で震度 7 の地震発生し大ダメージ、9 月には豪雨の被害も
9；日本は記録的猛暑、全国各地で連日の猛暑日を記録
10；韓国で「戒厳令」発令、そののち尹大統領の弾劾案が可決され職務権限停止に
番外；「日銀が 20 年ぶりに新紙幣発行」、「英総選挙で与党大敗、14 年ぶり政権交代」、「パリ五輪で日本は海外最多のメダル 45 個獲得」、「鳥山明さんや西田敏行さん、大山のぶ代さん、小澤征爾さんなどの訃報相次ぐ」、「大谷翔平選手が大リーグ初の『50-50』を記録」、「兵庫知事選など地方における政治問題が続々表面化」、「イランがイスラエルを初めて直接攻撃」、「米大統領選期間中にトランプ氏を狙った暗殺未遂事件が発生」、「北朝鮮が韓国との平和統一を破棄」、「北朝鮮がロシアに加担、ウクライナ侵攻に参加」ーー（順不同）。

ーー今年は色んなニュースが盛りだくさんの「百花繚乱」状態。8 位や 9 位にランクインした記録的な自然現象、自然災害も非常に印象的だったし、「地政学リスク」のさらなる高まりも衝撃的な出来事だった。例年であれば、「イランがイスラエルを初めて直接攻撃」、「北朝鮮がロシアに加担、ウクライナ侵攻に参加」ーーあたりは確実にベスト 10 に入る出来事だったと思う。
しかし、今年はそれらを上回る衝撃的な出来事がともかく目白押しだった。

早々に「2024 年は世界的な選挙イヤー」などと言われていたものの、その選挙結果は多くが予想外でまさに波乱要因に。とくに日米を中心として、各国とも政治の世界が予想以上の混乱状態を招いていた感は否めない。結果として、世界的な大変革期だったと言えるのではないだろうか。
紙幅の関係もあるので、詳細については先週付の当レターを参考にしていただきたいが、筆者はそんな政治の変革は、基本的に来年も続くと考えている。まずは年明け早々の「トランプ氏が米大統領に就任」から始まり、日本でも夏には「参院選」さらにはヒョッとすると再び「衆院選」が実施される可能性も否定はできない。ドイツやカナダ、韓国なども政治がゴタゴタしており、来年も各国政治状況は波乱含みの状況だ。

一方、前述したような政治や社会情勢もあってか、金融市場も総じて年間を通してかなりの大相場。当レターでも以前レポートしたように、たとえばドル/円はザックリ「140 円→160 円→140 円→155 円」ーーと、過去にあまり例をみない嵐のようなジェットコースター相場をたどっていたわけで、本来であれば年間 1 位であっても決しておかしくはない。ただ、今年はそれ以上の「強敵」が存在していたため、5 位に留めざるを得なかった。まさしく「相手が悪かった」ーーと言えそうだ。
そして、その 1 位に選出した「日米株価」、2 位の「ビットコイン」ともに非常に印象深く、そして甲乙つけがたい動きだったことは間違いないだろう。単なる「今年」という枠にとどまらず、歴史に残る出来事だった気さえしないでもない。いずれにしても、まだ少し早いものの、為替を含めて来年も金融市場全体を通した大いなる動意を期待せずにはいられない。

最後に、これは今年に限ったことではなく、むしろここ数年同じような話を繰り返している気もするが、トータルでいうとなかなか明るい事柄が少なかったのは非常に残念。
とは言え、惜しくもランクインこそしなかったが、米大リーグにおいて大谷翔平選手が達成した数々の偉業や、7 月にパリで開催されたオリンピック・パラリンピックにおける日本人選手の活躍が、日本を明るくする一助になったことは疑いない。果たして来年はどうなのだろうか。2025 年もスポーツの分野ぐらいは是非とも明るい話題を提供していただければ、と祈願し今年一年を締めくくりたい。（了）

ーー末筆になりましたが、当稿が今年最後のレターとなります。今年も御愛読ありがとうございました。来年が皆さまにとって良い一年でありますように。なお、来年の原稿は 1 月 8 日付から。よろしくお願い申し上げます。

▼▲

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

◆◇◆ Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved ◆◇◆

FX-newsletter